

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人アソカ学園 アソカ幼稚園

1. 本園の教育目標

親鸞聖人のみ教えを基に、「いのち」を大切にすると子、思いやりの心をもつ子、たくましい心と体をもつ子の育成を目指している。

豊かな環境のもと、子どもの心身の発達を助長すべく、よく見よく考え正しく行動できる子ども、よく遊びがんばりのきく元気な子ども、手を合わせやさしく思いやりのある子どもを育てることを目標としている。

子ども一人ひとりが日常の遊びの中で自主性と協調性を養い、健康・環境・人間関係・言葉・表現等が調和のとれた心身の発達育成を旨に保育を展開している。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

保育内容や年間行事等を考えるとともに、子どもの実態に則した保育を確立するため、教職員共通理解のもと、保育の質の向上を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育内容や年間行事等の点検	A	指導計画に基づく保育内容や年間行事等を子ども達の状態に勘案しつつ、自己反省点をふまえ、職員会議等で改善に努める。
2	保育の質の向上と研修の充実	C	各種研修会や研修会参加で学び得たことを職員間で共有し、職員会議等で成果や反省点を自由に発言協議できる環境を整え、質の向上に努力する。
3	保護者の要望把握と対応	B	保護者アンケートを実施し、保護者からの意見や要望には園からの説明と意向を示し、改善するべき点については実現するように取り組んでいく。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none">・教職員全員で保育に関する話し合いの時間がたくさん確保でき、子どもの実態に則した保育が行えた。・オンライン研修等を受けられるように園の設備を整える予定だったがすることができず、研修会にあまり参加することができなかった。・昨年度は参観をすることができず、保護者に園での子ども達の様子を見てもらうことができなかったが、今年度は人数制限(1名)を設けて行うことができた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	自己点検・自己評価	各教職員でさらなる課題を上げるべく研鑽を積み、毎年継続して行う。
2	安全危機管理	教職員、園児が安全危機管理の意識を高めるように年2回避難訓練を行う。保護者にも安全危機管理の意識を高めてもらうために引き取り訓練に参加してもらう。

3	未就園児親子教室	アソカ幼稚園を知っていただくために、年に8回未就園児親子教室を開催する。
4	施設整備	新型コロナウイルス感染症対策のため、各保育室に自動水栓手洗い場を設置する。

6.学校関係者評価委員会の評価

学校評価にも積極的に取り組み、特に指摘すべき事項はなく妥当であると認められる。

7.財務状況

公認会計士監査より、適正に運営されていると認められている。